

3. 廃消火器リサイクルシステムのマテリアルフロー

当リサイクルシステムにおける 2025 年度のマテリアルフローは以下のとおりである。

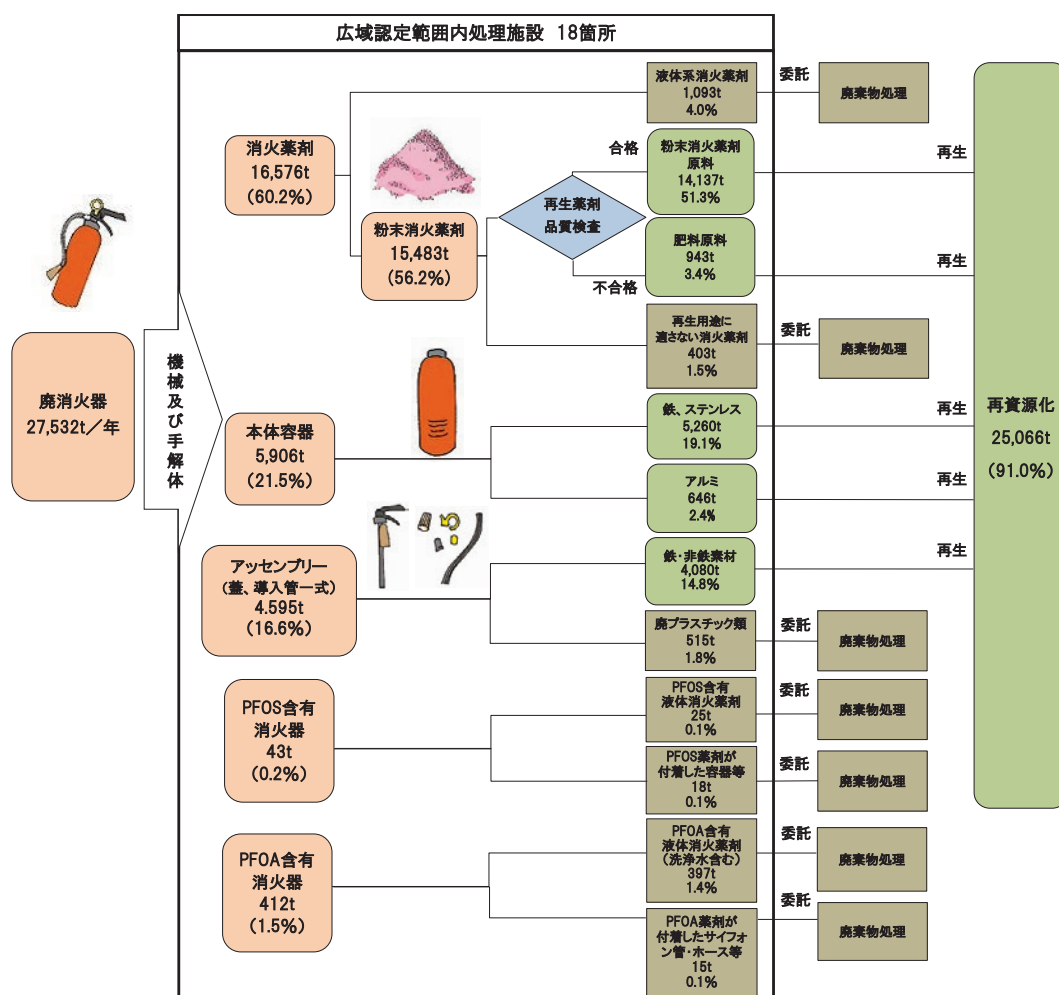


図 3-1 マテリアルフロー (2025 年度)

(注) 内訳個別の数値・割合は単位未満を四捨五入しているため、内訳の合算値と合計値とは一致しないことがあります。

当リサイクルシステムで回収された廃消火器は、中間処理施設で解体処理を行い、消火薬剤・容器・アッセンブリーに分別することで、資源の有効利用を進めており、2025 年度の再資源化率 (広域認定内) は 91.0% である (表 3-1)。リサイクルシステムの運用を開始した 2011 年度より 90% 以上の再資源化率を継続している (図 3-2)。

2025 年度に処理を行った廃棄物の量は一般廃棄物が 16,401t (前年度比 95.3%) であった。また、産業廃棄物は 11,131t (前年度比 97.8%) であった。

2024 年 8 月より運用が開始された PFOA 含有消火器の回収も順調に進んでいる。2025 年度は、消火薬剤が 397t (容器の洗浄水含む)、廃プラスチック (ホース、サイフォン管及びウエス PFOA 付着物) が 15t の回収であった。